



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日 東

上場会社名 セガサミーホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 6460 URL <http://www.segasammy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 里見 治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 高橋 公一 (TEL) 03-6215-9955
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	154,245	△4.9	3,452	△72.2	3,342	△76.6	△2,079	—
26年3月期第2四半期	162,209	18.8	12,398	57.1	14,266	95.6	11,348	192.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △1,269百万円(—%) 26年3月期第2四半期 28,687百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△8.52	—
26年3月期第2四半期	46.76	46.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	551,204	343,565	61.5
26年3月期	542,936	348,270	63.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 339,014百万円 26年3月期 343,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370,000	△2.1	18,000	△53.3	17,000	△58.1	4,000	△87.0	16.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	266,229,476株	26年3月期	266,229,476株
27年3月期2Q	21,920,137株	26年3月期	22,627,725株
27年3月期2Q	243,938,019株	26年3月期2Q	242,681,907株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成26年11月4日にアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(映像並びに音声)については、当日使用する決算説明会資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
売上高	136,583	162,209	154,245	△7,963	△4.9
営業利益	7,892	12,398	3,452	△8,946	△72.2
経常利益	7,295	14,266	3,342	△10,923	△76.6
四半期純利益	3,874	11,348	△2,079	△13,427	—
	円	円	円	円	%
1株当たり四半期純利益	15.74	46.76	△8.52	△55.28	—

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融・財政政策の効果を受け、企業業績の向上や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかな回復傾向が続いているものの、消費税率引き上げの影響による個人消費の低迷が懸念されることから、先行きはなお不透明な状況が続いております。

このような状況の中、遊技機業界におきましては、パチンコホール運営者における機械選別が進んでいることから、一部の主力製品に受注が集中する傾向にあり、パチスロ遊技機における新台入替は概ね安定的に推移している一方、パチンコ遊技機の新台入替は引き続き低調に推移しております。今後の市場活性化に向けては、エンドユーザーに支持される機械の開発、供給等が求められております。

アミューズメント業界におきましては、スマートフォンをはじめとした遊びの多様化並びに市場を牽引するタイトルの不在により、市場が低調に推移しております。今後の市場活性化に向けては、多様化する顧客ニーズに応じた斬新なゲーム機の開発、供給等が期待されています。

家庭用ゲーム業界におきましては、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）やスマートフォン向けなどのデジタルゲーム市場における需要が拡大する一方で、パッケージゲーム市場は低調に推移しております。

このような経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,542億45百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は34億52百万円（前年同期比72.2%減）、経常利益は33億42百万円（前年同期比76.6%減）となりましたが、当社子会社のフェニックスリゾート株式会社が運営するフェニックス・シーガイア・リゾートの一部の施設について、解体費用引当金繰入額27億78百万円を特別損失に計上したことなどにより、四半期純損失20億79百万円（前年同期は四半期純利益113億48百万円）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

《遊技機事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	54,375	71,240	60,679	—	—
セグメント間売上高	269	97	48	—	—
売上高合計	54,644	71,338	60,727	△10,610	△14.9
営業利益	10,406	15,176	7,391	△7,785	△51.3
	台	台	台	台	%
パチスロ販売台数	108,604	143,171	92,998	△50,173	△35.0
パチンコ販売台数	57,749	54,955	86,453	31,498	57.3

パチスロ遊技機におきましては、当第2四半期においてタイヨーエレクトリックブランド『パチスロバーチャファイター』を販売したものの、前年同期実績を下回る92千台の販売となりました。パチンコ遊技機におきましては、当第2四半期においてサミーブランド『デジハネCR北斗の拳5 慈母』の販売が好調に推移した結果、前年同期実績を上回る86千台の販売となりました。

以上の結果、売上高は607億27百万円（前年同期比14.9%減）、営業利益は73億91百万円（前年同期比51.3%減）となりました。

当第2四半期に販売を開始した遊技機の主要販売機種名及び販売台数

パチスロ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
パチスロバーチャファイター	(タイヨーエレクトリック)	7千台

パチンコ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
デジハネCR北斗の拳5 慈母	(サミー)	13千台
CRブラックラグーン2	(タイヨーエレクトリック)	10千台
デジハネCR蒼天の拳	(サミー)	4千台

《アミューズメント機器事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	18,741	18,025	18,094	—	—
セグメント間売上高	1,137	1,850	2,292	—	—
売上高合計	19,879	19,875	20,387	511	2.6
営業利益	895	△8	145	154	—

アミューズメント機器事業におきましては、『StarHorse3 Season III CHASE THE WIND』におけるCVTキット等の販売、『戦国大戦』におけるCVTキットやカード等の消耗品の販売、『ボーダーブレイク』シリーズ、『セガネットワーク対戦麻雀 MJ5 EVOLUTION』などのレベニューシェアタイトルによる配分収益が計上され、売上高は203億87百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は1億45百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

アミューズメント機器の主要販売タイトル名及び販売実績

タイトル名		販売実績
「StarHorse3」シリーズ	メダルゲーム	10億円
戦国大戦	トレーディング カードゲーム	8億円
「WORLD CLUB Champion Football」シリーズ	トレーディング カードゲーム	8億円

※販売実績は、カード等の消耗品販売やレベニューシェアタイトルによる配分収益等を含んでおります。

《アミューズメント施設事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	21,712	21,963	20,825	—	—
セグメント間売上高	0	8	8	—	—
売上高合計	21,713	21,971	20,834	△1,137	△5.2
営業利益	822	273	△224	△497	—
国内アミューズメント施設数	店舗 238	店舗 202	店舗 198	店舗 —	% —
(参考)	%	%	%		
国内既存店舗売上高前年同期比	93.8	95.0	98.7	—	—

アミューズメント施設事業におきましては、前期に引き続き既存店舗の運営力強化を行い、国内既存店舗の売上高は、前年同期比98.7%でしたが、消費税率引き上げによる売上高減少の影響を受けました。

国内においては当第2四半期に3店舗の閉店を行った結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は198店舗となりました。

以上の結果、売上高は208億34百万円（前年同期比5.2%減）、営業損失は2億24百万円（前年同期は営業利益2億73百万円）となりました。

《コンシューマ事業》

	前々年同期 連結累計期間	前年同期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	35,395	43,843	48,231	—	—
セグメント間売上高	306	251	399	—	—
売上高合計	35,702	44,095	48,631	4,536	10.3
営業利益	△780	1,118	939	△179	△16.0
	万本	万本	万本	万本	%
ゲームソフト販売本数	276	323	410	87	27.0

コンシューマ事業におきましては、パッケージゲーム分野において、『ペルソナ4 ジ・アルティマックス ウルトラスープレックスホールド』などの新作タイトルの販売を行なった結果、パッケージ販売本数は、米国142万本、欧州196万本、日本71万本、合計410万本となり、前年同期実績を上回りました。

一方で、携帯電話・スマートフォン・PCダウンロード等のデジタルゲーム分野におきましては、オンラインRPG『ファンタシースターオンライン2』や、『ぶよぶよ!!クエスト』、『チェインクロニクル ～絆の新大陸～』等のタイトルが堅調に推移しております。また、携帯電話・PC向けパチンコ・パチスロゲームサイトにおいては、スマートフォン対応版『777TOWN for Android』及び『777TOWN for iOS』並びにDeNA向け『モバ7』の取り組みを強化しております。

なお、デジタルゲーム分野における国内配信タイトル数は平成26年9月末時点で139本（うち、売切り型74本、無料プレイ型65本）となりました。

玩具販売事業におきましては、『アンパンマンシリーズ』及び『ジュエルパッド』などを中心に販売を実施いたしました。

アニメーション映像事業におきましては、劇場版『名探偵コナン 異次元の狙撃手』の配給収入やTVシリーズ『弱虫ペダル』のライセンス収入、物販収入などが好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は486億31百万円（前年同期比10.3%増）となりましたが、広告宣伝費等の増加により、営業利益は9億39百万円（前年同期比16.0%減）となりました。

当第2四半期に販売を開始したゲームソフトの主要販売タイトル名及び販売本数

タイトル名	販売地域	プラットフォーム	販売本数
ペルソナ4 ジ・アルティマックス ウルトラスープレックスホールド	日・米	PS3、Xbox360	23万本

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、平成26年10月31日公表の「第2四半期業績予想との差異、通期業績予想の修正及びグループ構造改革に向けた取り組み状況に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成24年5月17日 企業会計基準第26号。以下、「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成24年5月17日 企業会計基準適用指針第25号。以下、「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が812百万円、繰延税金資産が101百万円減少し、利益剰余金が711百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微です。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,220	92,648
受取手形及び売掛金	48,108	36,823
有価証券	107,713	124,312
商品及び製品	6,130	7,224
仕掛品	13,610	17,238
原材料及び貯蔵品	16,189	18,037
その他	25,824	28,675
貸倒引当金	△323	△360
流動資産合計	318,475	324,599
固定資産		
有形固定資産		
土地	39,029	39,583
その他(純額)	63,133	66,753
有形固定資産合計	102,162	106,336
無形固定資産		
のれん	18,915	16,599
その他	12,879	13,238
無形固定資産合計	31,795	29,837
投資その他の資産		
投資有価証券	60,825	58,794
その他	30,483	32,409
貸倒引当金	△805	△772
投資その他の資産合計	90,503	90,431
固定資産合計	224,461	226,604
資産合計	542,936	551,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,292	34,871
短期借入金	12,918	12,913
未払法人税等	6,288	1,587
引当金	4,782	5,066
資産除去債務	325	282
その他	29,461	27,005
流動負債合計	91,069	81,726
固定負債		
社債	37,800	57,000
長期借入金	35,198	38,988
退職給付に係る負債	6,053	4,641
役員退職慰労引当金	146	134
資産除去債務	2,165	2,194
解体費用引当金	—	3,395
その他	22,232	19,557
固定負債合計	103,596	125,912
負債合計	194,666	207,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,953	29,953
資本剰余金	119,312	119,276
利益剰余金	219,684	213,212
自己株式	△37,971	△36,785
株主資本合計	330,977	325,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,804	15,280
繰延ヘッジ損益	0	18
土地再評価差額金	△4,705	△4,705
為替換算調整勘定	△2,281	15
退職給付に係る調整累計額	2,504	2,748
その他の包括利益累計額合計	12,322	13,357
新株予約権	1,078	929
少数株主持分	3,892	3,621
純資産合計	348,270	343,565
負債純資産合計	542,936	551,204

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	162,209	154,245
売上原価	97,311	93,154
売上総利益	64,897	61,091
販売費及び一般管理費	52,499	57,638
営業利益	12,398	3,452
営業外収益		
受取利息	183	134
受取配当金	467	570
持分法による投資利益	—	123
為替差益	886	—
投資事業組合運用益	887	147
その他	519	453
営業外収益合計	2,944	1,430
営業外費用		
支払利息	420	427
持分法による投資損失	131	—
社債発行費	64	155
為替差損	—	259
支払手数料	28	130
その他	432	566
営業外費用合計	1,076	1,540
経常利益	14,266	3,342
特別利益		
固定資産売却益	3,576	2
投資有価証券売却益	255	186
新株予約権戻入益	0	105
その他	2	33
特別利益合計	3,834	329
特別損失		
固定資産売却損	2	68
減損損失	225	294
投資有価証券評価損	16	—
関係会社株式売却損	—	255
不具合対応費用	347	—
解体費用引当金繰入額	—	2,778
その他	17	179
特別損失合計	609	3,576
税金等調整前四半期純利益	17,491	95
法人税、住民税及び事業税	6,068	2,339
法人税等合計	6,068	2,339
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	11,423	△2,243
少数株主利益又は少数株主損失(△)	75	△163
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,348	△2,079

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	75	△163
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	11,423	△2,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,293	△1,527
繰延ヘッジ損益	11	17
為替換算調整勘定	2,072	2,217
退職給付に係る調整額	—	243
持分法適用会社に対する持分相当額	△114	22
その他の包括利益合計	17,263	973
四半期包括利益	28,687	△1,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,447	△1,044
少数株主に係る四半期包括利益	239	△224

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	遊技機事業	アミューズ メント 機器事業	アミューズ メント 施設事業	コンシューマ 事業	計	その他 (注)	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	71,240	18,025	21,963	43,843	155,073	7,135	162,209
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	97	1,850	8	251	2,207	329	2,537
計	71,338	19,875	21,971	44,095	157,280	7,465	164,746
セグメント利益又は損失(△)	15,176	△8	273	1,118	16,559	△496	16,062

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、複合型リゾート施設事業、情報提供サービス業などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	16,559
「その他」の区分の損失	△496
セグメント間取引消去	74
全社費用(注)	△3,738
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	12,398

(注) 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	遊技機事業	アミューズ メント 機器事業	アミューズ メント 施設事業	コンシューマ 事業	計	その他 (注)	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	60,679	18,094	20,825	48,231	147,831	6,413	154,245
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	2,292	8	399	2,748	370	3,119
計	60,727	20,387	20,834	48,631	150,580	6,784	157,364
セグメント利益又は損失(△)	7,391	145	△224	939	8,251	△1,006	7,244

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、複合型リゾート施設事業、情報提供サービス業などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	8,251
「その他」の区分の損失	△1,006
セグメント間取引消去	14
全社費用(注)	△3,806
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,452

(注) 全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微です。